

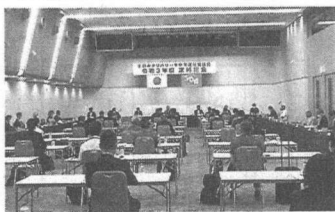
SDA 21年度定時総会

「自転車部会」新設

宅配需要高まる中、交通安全活動に全力

食品宅配企業などで構成され、会員相互で積極的な交通安全推進活動に取り組み全日本デリバリー業安全運転協議会(SDA/浅野秀則理事長)は6月11日、東京都千代田区の海運クラブで定時総会および理事会・評議員会を開催。21年度事業計画などを決めた。

総会には、同協議会理事・監事を含む正会員や賛助会員をはじめ、団体系理事、大学教授など有識者らが務めるSDA評議員、さらに警察庁、警視



定時総会の様子

庁など警察行政の関係部局からも多数出席した。総会冒頭には浅野理事長があいさつ。「SDAは平成5年(1993年)に発足し、今年9月に創立28周年を迎える。これまで『安全』を最優先に、会員企業の垣根を超えて交通安全管理態勢の構築とデリバリー業界

の健全な発展に邁進してきた。近年は宅配ニーズの高まりで新規企業や事業が参入する中、デリバリー業界において交通安全対策の重要性は一層向上。今後も会員の皆様と



浅野理事長

一丸となり、さらなる交通安全活動や防犯推進など、SDAの様々な取り組みに注力したい」旨を述べた。

議案審議は浅野理事長を議長に進められ、20年度事業実績・決算報告、21年度事業計画・予算案など全議題を承認した。事業実績報告のうち、SDA加盟会員の異動(20年度)では、(株)イー・ピーホールディングスが賛助会員(宅配業者)に加入。このほか賛助会員の宅配業者以外に▽シニアフル(株)▽Uber Japan(株)▽シエネクス(株)が加入した。退会は(株)ラインズの1社。また、21年4月1日付で次の5社が宅配外賛助会員に加入した。▽Woolit Japan(株)▽N

ECネクソソリューション(株)▽トキワ(株)▽プレスインズ▽マジカルレーシング。これにより21年4月1日時点での加盟会員は正会員10社(1818店舗)、賛助会員の宅配業者14社(1452店舗)、賛助会員の宅配業者以外3社となった。

この後、総会では警視庁交通部主催セーフティードライバーズコンテスト(無事故無違反運動)で優秀な成績を収めた会社員社への表彰式を挙行。交通安全活動に尽力寄与したとして、今年(株)ストロベリーコーンズと(株)デルソーレに「警視庁交通部長感謝状」が警視庁交通部・切刀正樹管理官より授与された。

なお、総会中にはSDA評議員で全日本交通安全協会の入谷誠専務理事をはじめ、警察庁交通部交通企画課・大竹和美課長補佐、自動車安全運転センター・秋山康裕業務部長らによる講話も行われた。また総会には、高木市早苗衆議院議員、高木勇人警察庁交通局長より祝辞が届け、村川淳一理事により代読された。

【自転車部会東京支部の設置】近年の都市部等における自転車宅配利用の活発化により、宅配用自転車の安全管理態勢維持向上のため、「自転車部会東京支部」を新しく設置。警視庁交通部の指導を得て、都内での活動を推進するとともに、今後は他地域支部設置と活動への発展を目指す。

【講習会】①座学講習会Ⅱ店長・FCオーナーなどを対象に開催。20年度は2回開催(計25人参加)②安全運転実技講習会Ⅱ20年度は全国で6回開催(計81人参加)。各講習はコロナの影響もあり減催となったが、今後は要望に応じて精力的に開催していく。

【無事故無違反運動】20年度同運動参加者総数は47都道府県で9821人(うち東京都1910人)で、全体の前年度比は87.2%と微減した。無事故無違反達成率は全体で上昇傾向にあり、東京都は引き続き50%台を堅持している。さらに東京都以外の46道府県全体についても9年連続で前年を上昇。今年度も前年度を超える多数の参加者と成績を目指す。

【交通安全運転マニュアルの頒布促進】店長用マニュアル(安全運転教育・指導など)およびドライバードライバー用マニュアル(安全運転五則・事故発生時対応など要領)の頒布促進を一層図る。

このほか反射材・プロテクター使用状況では、加盟各社が車両・器具に反射材を使用し、交通事故抑制など安全運転活動を推進。加えてプロテクター着用的重要性も高まっており、ライドオンエクスプレスホールディングスは胸部プロテクターを全直営店やFC店約200店で導入済。イー・ピーホールディングスも胸部プロテクターを10数店舗において導入済など、今後導入を検討している他会員も含めて徐々に増加傾向にある。

また、SDAでは社会貢献活動の一環で、例年に続き警視庁をはじめ、茨城県警、埼玉県警、神奈川県警、大阪府警、兵庫県警、香川県警など全国各地で実施されている高齢者運転免許自主返納支援活動に会員加盟社が協力した。さらに警視庁や全国各地の警察本部生活安全部、交通部などの広報活動にも寄与。防犯や交通安全などの啓発チラシやステッカーを会員加盟店舗の尽力で配布または車両ボックスなどに貼付した。20年度もSDA会員各社の社会的貢献について認識を高め、交通安全と防犯などの各種活動への積極的な協力を実施する方針。

【安全運転競技大会】警視庁・SDA共催安全運転競技大会Ⅱ20年度(第17回大会)は5社・8チーム/29人参加(うち初参加19人)。今年度の第18回大会は11月10日(水)に開催予定▽SDAセーフティードライバーコンテストⅡ20年度第23回大会はコロナ影響で中止。今年度の第23回大会は9月4日(土)に開催予定。

【二輪車安全運転指導員資格の取得促進】本社が所在する地域で会員各社最低1名の参加とともに、東京、神奈川、大阪など店舗集中地域で極力多数の参加に期待。